

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

令和3年度第2回岩手県公共事業評価専門委員会

2 開催した日時

令和3年7月12日（月） 13:30～16:00

3 開催場所

エスポワールいわて3階特別ホール（盛岡市中央通一丁目1-38）

4 出席委員

小笠原敏記専門委員長、泉桂子副専門委員長、清水真弘委員、谷本真佑委員、武藤由子委員
（6名中5名出席）

5 議題等

（1）議事

ア 公共事業の再評価について<継続審議>

詳細審議地区4件について、事業担当課から詳細な説明があり、審議を行った。その結果、2地区（鳥海、佐比内）については次回以降も審議を継続することとした。

■ 専門委員からの主な質疑、意見は次のとおり

【経営体育成基盤整備事業（鳥海地区）】

（質疑）

「農事組合法人鳥海ファーム」が設立されたとあるが、本事業の成果として考えてよいか。

（回答）

事業着手時にはない組織だったため、本事業の成果である。農地の面的集積率についても同様。

（質疑）

費用便益分析について、工事期間の延長と評価期間の考え方は。

（回答）

前回評価時は、工事期間6年に評価期間の40年を加算した46年が評価期間。今回再評価時は6年の事業延長のため、工事期間12年に40年を加算した52年が評価期間になる。

（質疑）

整備によって得られる効果で、農作業時間が50%以上削減されるとあるが数字の算定方法は。

（回答）

農家等への聞き取り調査により、実際の作業時間で算定したもの。

（意見）

費用便益分析の便益項目のうち、「その他効果」に関する詳細な説明をしてほしい。

【林道整備事業（翁沢線）】（審議終了）

（質疑）

木材市場価格はマニュアル等を参考にしているのか。また、価格の直近の変動状況はどうか。

（回答）

令和2年度のマニュアルを参考にし、過去5年間の平均価格が本年度の価格となる。本年度の価格に、大きな変動はないが、今後は、新聞報道等のウッドショックの影響等を注視していく。

【地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）（佐比内）】

（質疑）

脆弱地層が当初の設計よりも大幅に増加した要因は。

（回答）

線形の計画変更があり、10メートルほど離れた位置でボーリング調査を実施したため。

（意見）

費用便益分析について、事前評価時と再評価時を比較した際に、減少となる項目と便益の算出結果が増となる要因を説明してほしい。また、冬期の走行期間を考慮したことによる変化を分かりやすく説明してほしい。

【公営住宅建設事業（公営住宅）（県営岩脇緑が丘アパート）】（審議終了）

（質疑）

現状の建物の今後の方針は。

（回答）

県全体の管理戸数等を踏まえて、検討することとなる。

イ 第3回専門委員会（現地調査）について

2地区（佐比内、県営岩脇緑が丘アパート）について、次回の専門委員会で現地調査を実施することとした。なお、県営岩脇緑が丘アパートについては、審議終了となったが、次回の専門委員会で現地調査を実施するため、説明資料等の作成を行うこととした。

ウ その他について

特になし

（2）会議資料

資料 No. 1	令和3年度第2回公共事業評価専門委員会詳細審議対象地区 位置図
資料 No. 2	公共事業評価詳細審議資料
資料 No. 3	令和3年度公共事業評価専門委員会 現地調査行程（案）
参考資料	令和3年度第1回公共事業評価専門委員会の審議概要

※ 会議資料及び会議録については、行政情報センターへ配架するとともに、県のホームページに掲載します。

6 傍聴人数

一般 0人 報道 2社

7 問い合わせ先

〒020-8570 盛岡市内丸10番1号

岩手県政策企画部政策企画課 TEL：019-629-5181 FAX：019-629-6229

8 アドレス

<https://www.pref.iwate.jp/seisaku/hyouka/koukyouhyouka/1042611/1042617.html>

9 その他

政策等の評価について御意見がありましたら、上記問い合わせ先まで FAX 等でお寄せください。今後の専門委員会で審議の参考とさせていただきます。